

パイプ、チューブ曲げ性能一覧（目安としての機能）

19,11,11

	材料名	耐熱性	耐候性	耐溶剤	耐薬品性	柔軟性	耐摩耗性	滑り性	耐圧性能	ガスバリア性	加工性
1	軟質フッ素	◎	○	◎	◎	×	△	△	◎	◎	◎
2	テフロン	◎	○	◎	◎	×	○	◎	○	○	◎
3	ポリオレフィン	△	○	△	△	×	×	×	△	△	○
4	ポリエチレン	○	○	△	○	○	△	○	△	△	△
5	軟質架橋PE	○	○	△	△	○	△	×	△	△	△
6	ポリプロピレン	○	△	○	◎	○	○	×	△	△	—
7	軟質塩ビ	○	○	◎	◎	◎	○	×	○	△	—
8	ポリエステル	○	△	○	○	○	○	×	△	△	△
9	ポリブデン	○	△	○	○	△	○	△	△	△	△
10	ポリアセタール	○	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△
11	ナイロン	○	○	△	○	◎	○	△	○	△	○
12	軟質ポリウレタン	△	○	△	○	○	◎	△	○	△	△
13	シリコン	◎	○	◎	◎	◎	○	×	△	○	—

上記の表内材料は軟質系を主とした物で、曲げ加工は材料によっては曲げられない材質もありますので事前加工確認が必要です。
 また、表の材料は代表的な機能性能ですので性能は合わない物もありますので注意してください。
 材料コストについては加工数量にて大きく異なります。